

オンラインマッチングイベント 発表団体のご紹介



タイムテーブル【ニーズ・シーズ発表】

2021年3月2日(火)に、ニーズ・シーズの発表を行います。
各団体15分程度のニーズ・シーズ発表を行い、その後5分程度の質疑応答の時間を設けます。(計20分)
各団体の発表時間帯は以下の通りです。(時間が前後する場合があります)

ニーズ発表

シーズ発表

Channel-A	Channel-B	Channel-C
-----------	-----------	-----------

10	10:00 -10:20	[A-01] 大阪府 『大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて』	[B-01] アイシン精機㈱ 『オンデマンド交通「チョイソコ」のご紹介』	[C-01] インテル㈱ 『DX推進に向けて、地域でのデジタル人材育成をお手伝いします』
	10:25 -10:45	[A-02] 加古川市 『加古川市における安全安心の取り組みについて』	[B-02] ㈱シェアショーファー 『新しい日常の「お出掛け」サービス』	[C-02] PwCコンサルティング合同会社 『都市を舞台にしたフィジカル・デジタルの連携による都市機能のスマート化』
	10:50 -11:10	[A-03] 福島産業創生協議会 『復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト』	[B-03] TOA㈱ 『「音」で繋がる「笑顔あふれるまちづくり」』	[C-03] Vivasia S&C㈱ 『スマートタワー（Dicecell）の活用について』
	11:15 -11:35	[A-04] 横須賀市 『ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介』	[B-04] ㈱ナイトレイ 『スマートシティ構想におけるロケーションビッグデータを活用した都市・地域課題解決』	[C-04] ㈱福山コンサルタント 『当社のスマートシティへの取り組みとソリューション』
	11:40 -12:00	[A-05] さいたま市 『都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用』	[B-05] ㈱マクニカ 『自動運転車両活用による移動支援と走行によって得られるデータ活用ソリューション』	[C-05] 京セラコミュニケーションシステム㈱ 『自治体様・地域事業者様と取り組む「モビリティサービス」と「地域インフラ事業」のご紹介』
13	13:00 -13:20	[A-06] ㈱竹中工務店 『サステナブルなスマートコミュニティ・スマートシティへ技術と総合力で貢献します』	[B-06] ㈱アルボル 『AI活用型コミュニケーション・ロボを活用した観光ガイドについて』	[C-06] 京セラ㈱ 『安心・安全な地域社会実現に貢献する京セラコネクティングサービス』
	13:25 -13:45	[A-07] ABB日本ベレー㈱ 『スマートシティにおけるエネルギーの最適化』	[B-07] キヤノンマーケティングジャパン㈱ 『地域資源の魅力再構成と先端テクノロジーによるプロモーション』	[C-07] ㈱JX通信社 『SNS緊急情報サービス「FATALERT」によるスマートAI防災の廉価な実現』
	13:50 -14:10	[A-08] 清水建設㈱ LCV事業本部 『清水建設による地域の再生可能エネルギーを活用した防災・減災力強化事業』	[B-08] ㈱JTBC（観光予報プラットフォーム推進協議会） 『ビッグデータの有効活用によるEBPM（証拠に基づいた事業・政策立案）と効率化、生産性の向上』	[C-08] ㈱デンソー 『地域の非常時と平常時の安心・安全を実現するデンソーの社会ソリューション』
	14:15 -14:35	[A-09] みやまパワーHD㈱ 『ゼロカーボンシティ実現に向けた「地域内環境価値の取引」や「地域通貨」への応用』	[B-09] ㈱unerry 『スマートシティに向けた行動ビッグデータ活用最前線』	[C-09] 三井住友建設㈱ 『災害（地震）に強いスマートシティの実現』
15	14:50 -15:10	[A-10] ㈱アウトソーシングテクノロジー 『地方創生へ向けた取り組みと課題解決』	[B-10] 朝日航洋㈱ 『3D都市モデル、IoT/ビッグデータを活用した防災減災・インフラモニタリング支援』	[C-10] エバタ㈱、秩父ケミカル㈱ 『「水循環」の改善技術で、スマートシティ実現への提案』
	15:15 -15:35	[A-11] ㈱フジタ 『フジタにおけるスマートシティの取組』	[B-11] ㈱大林組 『データプラットフォーム「SCIM」を核としたスマートサービスの提供』	[C-11] ミネベアミツミ㈱ 『スマート道路照明とスマートシティソリューション』
	15:40 -16:00	[A-12] ㈱ラック 『スマートシティ/スーパーシティ向けセキュリティサービス構想「town」』		

大阪府（おおさかふ）

発表時間		[A-01] 10:00~10:20				
団体情報	所在地	大阪府	団体種別	地方公共団体	所属業界	その他
	取組分野	交通モビリティ 観光・地域活性化 セキュリティ	エネルギー 健康・医療 物流	防災 農林水産業 都市計画・整備	インフラ維持管理 環境 その他	
	団体概要	<p>役割</p> <ul style="list-style-type: none"> AI・IoT等の活用による府民のQoL向上や、行政の情報化、国家戦略特別区域等に関する事務を担う。 <p>大阪スマートシティ戦略について</p> <ul style="list-style-type: none"> 2025年大阪・関西万博に向け、大胆な規制緩和等による最先端の取組と、府域全体で住民に利便性を実感してもらえる取組を両輪として、大阪モデルのスマートシティの基盤を確立し、e-OSAKA（先端技術を活用することで住民が笑顔になる大阪）を実現するための戦略を令和2年3月に策定。 <p>取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業やシビックテック、府内市町村、大学等と連携し、地域・社会課題を解決していく「公民共同エコシステム」として「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」を令和2年8月に設立。（現在330超の企業・団体が参画） 「スマートヘルスシティ」「高齢者にやさしいまちづくり」「子育てしやすいまちづくり」「移動がスムーズなまちづくり」「インバウンド・観光の再生」「大阪ものづくり2.0」の6分野16プロジェクトを推進中。 <div style="text-align: center;">  </div>				
	ホームページ	http://www.pref.osaka.lg.jp/it-suishin/sc/index.html				
発表	発表タイトル	大阪府内の市町村が抱える移動課題と、スマートモビリティについて				
	発表概要	<p>大阪府の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪スマートシティ戦略の方向性について 令和2年3月に策定した「大阪スマートシティ戦略Ver.1.0」の3つの基本姿勢の紹介や、府域での展開イメージ、スマートモビリティに関する内容など 大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）について OSPFの枠組みの紹介や、現在進行中のプロジェクトに関する内容など <p>大阪府内市町村のモビリティ分野における課題など</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府内市町村が抱える移動課題とニーズについて 大阪府内の市町村が抱える移動を中心とした課題の類型や、これまでにわかってきた課題など 大阪府内での先行事例について モビリティ分野における先行事例など 具体的な市町村の移動課題の例について 岸和田市などを題材として具体例を紹介：まちづくりにおける拠点整備に伴い、企業の皆様等に期待する取組み 等 				
面談希望内容		<p>面談希望相手</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪府内で、市町村が抱える移動課題の解決に向け、実証実験に留まらず、社会実装を目指していただける企業の皆様 大阪スマートシティパートナーズフォーラムに興味のある企業の皆様 大阪府内でのAIオンデマンド交通の導入について具体的な検討をしていただける大阪府内の事業者の皆様（特に交通事業者様） 大阪府内にて横展開できるスマートモビリティ事業モデルをお持ちの皆様 等 				

加古川市（かこがわし）

発表時間		[A-02] 10:25~10:45				
団体情報	所在地	兵庫県	団体種別	地方公共団体	所属業界	サービス
	取組分野	交通モビリティ 観光・地域活性化 セキュリティ	エネルギー 健康・医療 物流	防災 農林水産業 都市計画・整備	インフラ維持管理 環境 その他	
	団体概要	<p>・兵庫県加古川市は、兵庫県下最大の一級河川「加古川」が市の中央部を流れる水と緑に恵まれた自然と歴史にあふれる人口約26万人の都市です。</p> <p>・海岸線には、播磨臨海工業地帯の一翼を担っているわが国有数の鉄鋼工場があり、内陸部には伝統を生かした靴下、建具など特色のある地場産業が営まれています。</p> <p>・また、国宝などを多数所蔵する鶴林寺をはじめとする神社仏閣や見事な眺望と自然が満喫できる高御位山など、加古川の清流と豊かな緑を擁した文化遺産の多いまちです。</p>				
	ホームページ	https://city.kakogawa.lg.jp				
発表	発表タイトル	加古川市における安全安心の取り組みについて				
	発表概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より運用している見守りカメラ1,475台のリプレースについて ・BLEタグ検知器のさらなる活用 ・3D都市モデルを活用したまちづくり ・地域BWAネットワークを活用したまちづくり 				
面談希望内容		<p><人流、交通量のセンシング></p> <p>・加古川駅周辺の活性化にあたって、歩行者天国などを検討しており、現在の通行量を簡易なセンサーを整備したいと考えています。</p> <p><見守りカメラのリプレース></p> <p>・現在設置している見守りカメラのリプレースを検討するにあたって、現在の技術動向について情報提供をお願いします。</p> <p><BLEタグ検知器の活用></p> <p>・見守りカメラの中に同梱しているBLEタグ検知器のさらなる活用について情報提供をお願いします。</p> <p><3D都市モデルの活用></p> <p>・都市局様の「3D都市モデル構築対象都市」となっており、翌年度以降の利活用について情報提供をお願いします。</p>				

福島産業創生協議会（ふくしまさんぎょうそうせいきょうぎかい）

発表時間		[A-03] 10:50~11:10				
所在地		福島県	団体種別	その他	所属業界	その他
取組分野		交通モビリティ 観光・地域活性化 セキュリティ	エネルギー 健康・医療 物流	防災 農林水産業 都市計画・整備	インフラ維持管理 環境 その他	
団体情報	団体概要	<p>・震災直後から被災地の産業創生をテーマに産学官有識者ネットワーク構築活動を行う。「福島の復興は新たな産業創生から」を活動テーマに、「福島の復興を考える会」（参加企業団体300社以上、参加人数延べ2000名以上）にて、WS30回、チェルノブイリ、東京電力福島第一原子力発電所、会津スマートシティAictなどの視察企画。当初、放射能対策に係る産業創生活動を行ってきたが、4年ほど前からICTを中心とした復興産業の手法を模索。</p> <p>・その後、テーマを「スマートシティ構想」に方向を定め、「会津スマートシティ構想」との連携を計り、内閣府「スーパーシティ構想」を目標として活動を進める中、平成30年3月、「福島の復興を考える会」の組織体制強化を目的に「福島産業創生協議会」を発足、「スマートシティ官民連携プラットフォーム」にオブザーバーとして加わる。2021年1月現在[会員]11社[参与会員]4名、[地方自治体との協定]被災地自治体との連携を推進中。</p>				
	ホームページ					
発表タイトル		復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト				
発表	発表概要	<ol style="list-style-type: none"> 1) プロジェクト概要と福島産業創生協議会の説明 2) 震災と原発事故当時から現状に至る説明 3) 現状の課題と過去10年の被災地における様々な事業紹介 4) 新たなプロジェクト紹介 <ol style="list-style-type: none"> 1. 広域連携型の先進的なコネクティッド・ライフ環境プラットフォームの構築 2. エネルギー・データ・交通インフラ等の地産地消システム 3. FUKUSHIMA被災地 林業再生PLAN 4. エssenシャルワーカーによる医療・介護・見守り・物流配送等の社会補完サービスシステムの開発 5) 「復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト」全体像 				
	面談希望内容	<p>・FUKUSHIMAの被災地は、震災後10年を経て復旧から復興の新たなフェーズに入っている。イノベーションコースト構想や原発廃炉等の巨大プロジェクトと共に広大な原野に変わった「グリーンフィールド」における産業創生が求められている。</p> <p>・この現況は日本の地方の将来像であり、新たな産業創生による復興は世界に向けて発信できる「スマートシティ/スーパーシティ」の実践場として実験・実装が可能であると捉え、今回FUKUSHIMAの被災地で「復興FUKUSHIMAスマートシティ・プロジェクト」に参加いただける連携企業を求めている。</p>				

横須賀市（よこすかし）

発表時間		[A-04] 11:15~11:35				
団体情報	所在地	神奈川県	団体種別	地方公共団体	所属業界	その他
	取組分野	交通モビリティ 観光・地域活性化 セキュリティ	エネルギー 健康・医療 物流	防災 農林水産業 都市計画・整備		インフラ維持管理 環境 その他
	団体概要	<p>・横須賀市では、YRP研究開発推進協会及び（株）横須賀テレコムリサーチパークとともに、横須賀をフィールドとして、スマートモビリティの開発・実証の推進及び関連産業・周辺産業の集積を図ることで、新規ビジネス創出や社会的課題解決へのチャレンジを目指す「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ（以下、スカモビ）」を推進しています。</p> <p>・スカモビは、学識経験者や関連企業・団体からなる、スカモビ推進協議会など、強力な推進体制を構築しており、2019年1月24日に発表した「横須賀スマートモビリティ宣言」に基づき、今年度は11件の実証実験プロジェクトに対し地元調整や、市有施設の貸与を中心とした支援を行い、プロジェクト実施者からも支援内容について高い評価を得ています。</p> <p>・今後もプロジェクトの実装・展開へチャレンジし、横須賀から先端事例・新規事業を創出し、日本・世界に展開していくことを目指します。</p>				
	ホームページ	https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/index.html				
発表	発表タイトル	ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのご紹介				
	発表概要	<ol style="list-style-type: none"> 横須賀市が抱える社会的課題 <ul style="list-style-type: none"> 人口約40万人の中核市である横須賀市が抱える課題についてお話しします。 ヨコスカ×スマートモビリティチャレンジについて <ul style="list-style-type: none"> なぜ、横須賀市が「ヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジ」を開始したのか、強力な推進体制、スカモビのビジョンである「横須賀スマートモビリティ宣言」、宣言に基づく支援パッケージなどをご紹介します。 スカモビ支援プロジェクトについて <ul style="list-style-type: none"> 2019年度、2020年度に実施または進行中の主なプロジェクトについてご紹介します。特に、全国初の要素を持ったプロジェクトや、横須賀市がプロジェクト実施者に対して行った支援内容なども併せてご説明します。 スカモビ・チャレンジネットワークのご紹介 <ul style="list-style-type: none"> スカモビの活動をより広く展開していくため、ニースオリエンテッドな新規実証プロジェクトの創出、企業等とのネットワーキングを目的とした連携の枠組みをご紹介します。 				
面談希望内容		<p>・スカモビが考える「スマートモビリティ」とは、単なる乗り物にとどまらず、我々が社会生活を営むために不可欠なヒト・モノ・サービスの移動をスマートにすることを意味します。</p> <p>・したがって、モビリティ(移動性)をスマートにデザインすることはすなわち、私たちの生活を、ひいては私たちの住むまちをスマートにデザインすることにつながると考えています。</p> <p>・スカモビが考える「スマートモビリティ」の理念に共感し、新規ビジネス創出や社会的課題解決へのチャレンジ、これらの実装・展開へチャレンジしたいと考え、実証実験のフィールドを探している企業・団体・学校などにご注目いただければと考えています。</p>				



さいたま市（さいたまし）

発表時間		[A-05] 11:40~12:00				
団体情報	所在地	埼玉県	団体種別	地方公共団体	所属業界	その他
	取組分野	交通モビリティ 観光・地域活性化 セキュリティ	エネルギー 健康・医療 物流	防災 農林水産業 都市計画・整備	インフラ維持管理 環境 その他	
	団体概要	<p>・さいたま市では、美園地区で、公民+学の連携によりスマートシティの推進に取り組んでおります。</p> <p>・浦和美園が本当に住みやすい街大賞2021 第10位にランキング（ 1 ）、さいたま市が全国市区・SDGs先進度調査では第1位にランキング（ 2 ）、等、取組の評価をいただいております。</p> <p>（ 1 ）アルヒ株式会社調べ （ 2 ）日本経済新聞社調べ</p> <div style="text-align: center;">  <h1>さいたま市</h1> </div>				
ホームページ	https://www.city.saitama.jp					
発表	発表タイトル	都市OSとしての共通プラットフォームさいたま版の活用				
	発表概要	<p>・さいたま市では、美園地区で美園タウンマネジメント協会を設立し、43の大学・民間企業等、公民+学の連携によりスマートシティの推進に取り組んでおります。</p> <p>・スマートシティの対象分野は市民生活を構成するあらゆる分野としていますが、特にデータビジネスに注力しており、平成29年度に情報共通基盤である「共通プラットフォームさいたま版」を構築し、ヘルスケアやスポーツ分野等でデータの利活用を行う実証事業を行ってきた実績を有し、モビリティ分野のデータ利活用にも取り組んでまいります。</p> <p>・令和3年度は「共通プラットフォームさいたま版」をスマートシティ・リファレンスアーキテクチャに基づき改修することで、都市OSとして、多くの自治体さまとの共同利用を考えております。</p> <p>・弊市が有するノウハウや、これまでの取組概要、今後の展開方針について、お話しさせていただきたく存じます。</p>				
面談希望内容		（発表のみ）				